

AICA

土木建築用補修材

JOLY SEAL

ひび割れ注入補修用エポキシ樹脂

硬質形 I

低粘度形 L

F☆☆☆☆

ジョリシール

JB-23 S (夏型) W (冬型)

ジョリシールJB-23(S・W)は、常温硬化型エポキシ樹脂注入補修材で低粘度形です。コンクリートのひび割れ補修用として長年の実績があります。

用途

- コンクリートのひび割れ注入補修材
(JIS A 6024-1998適合)
(エポキシ樹脂注入材1種)

特長

- 低粘度で作業性が良い
- 湿潤したコンクリートでも接着性が良い
- 低圧注入に適します

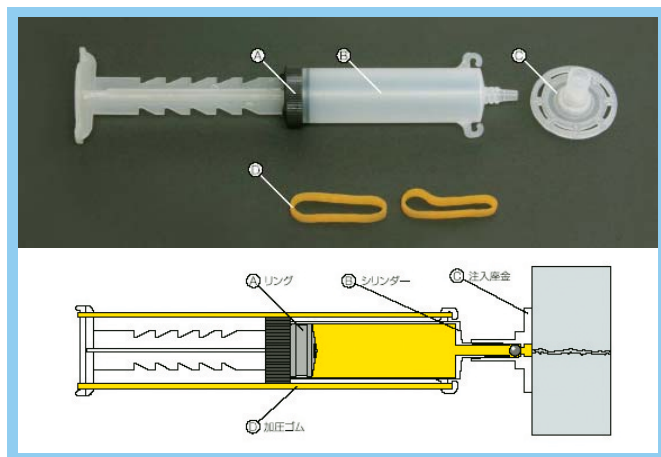


◆梱包容量

3kgセット×4セット入段ボール箱
(主剤2kg、硬化剤1kg)



低圧注入器
JB-SJA
100個/箱(専用ノズル付)



低圧注入器 JB-QS2 100個/箱

◆性状

外觀	主 剤 硬化剤 混合物	淡黄色透明液体 褐色液体 淡褐色液体		
主成分	主 剤 硬化剤	エポキシ樹脂 ポリチオール		
配合比	主剤：硬化剤	2：1（重量比）		
可使時間	夏型(S) 冬型(W)	60分以上／20℃ 30分以上／20℃		
硬化	夏型(S)／20℃	初期 18時間	実用 2日	完全 7日
	冬型(W)／20℃	10時間	2日	7日
比重	1.2±0.1			

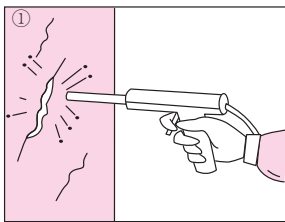
月区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12月
温度区分	-5	0	5	10	15	20	25	30	35	40℃		

W型: 1月 ~ 4月, 11月 ~ 12月
S型: 5月 ~ 10月

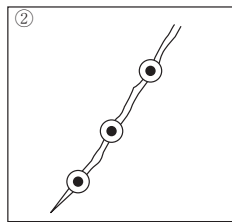
身近な暮らしに「化学」を生かす

AICA

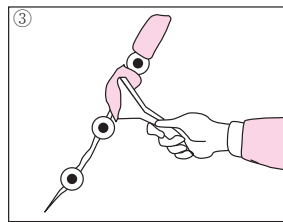
◆施工方法



ひび割れ部のホコリ、汚れ、レイタンス等を除去し、シーリング材の付着をよくする。

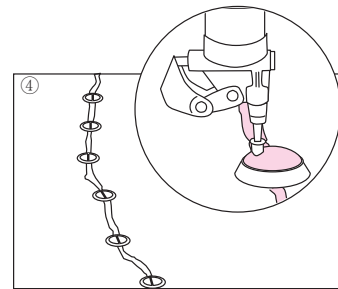


できるだけ等間隔で注入しやすい箇所を決定し、注入口にJB-919FD5で低圧注入治具を接着する



ひび割れにそってJB-919FD5でシールする。

JB-919FD5 1Kgセット
(主剤：硬化剤＝1：1)



JB-23(S・W)を低圧注入治具に入れてゆっくり注入する。
[W(冬型)は気温15℃以下が目安]

ジョリシールJB-23(S・W)の品質 (JIS A6024の品質適合品)

試験項目	試験方法	単位	規格値	測定値	
				JB-23W(冬型)	JB-23S(夏型)
粘度	JIS A6024	mPa・s	100～1000/23℃	500	700
接着強さ	JIS A6024	N/mm ²	6以上 (標準条件) 3以上 (低温時) 3以上 (湿潤時) 3以上 (乾湿繰返し時)	7.7 8.1 5.6 6.6	7.1 — 6.1 6.1
硬化収縮率	JIS A6024	%	3以下	1.5	0.9
加熱変化	JIS A6024	%	5以下 (質量変化) 5以下 (体積変化)	1.8 0.6	1.7 2.7
引張強さ	JIS A6024	N/mm ²	15以上	62.1	46.3
引張破壊伸び	JIS A6024	%	10以下	2.7	6.2

安全上のご注意

1. 注意

- 1-1 作業前の確認
取扱い作業に際しては、説明書、製品安全データシート (MSDS) などで、注意事項を確認して下さい。
- 1-2 取扱い場所
(1) 火気のあるところでは、使用しないで下さい。
(2) 取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。
- 1-3 取扱い方法
(1) 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用して下さい。
(2) 容器からこぼれた場合には、布 (ウェス) で拭きとって、安全な場所に廃棄して下さい。
(3) 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 1-4 応急措置
(1) 作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。
(2) 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み、又は外観に変化がある時には、医師の診断を受けて下さい。
(3) 目に入った場合には、多量の水で洗い流し、早く医師の診断を受けて下さい。
(4) 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
(5) 誤って飲み込んだ場合は、早く医師の診断を受けて下さい。
- 1-5 保管方法
(1) 密栓の上、危険物倉庫に保管するか、指定数量以下の場合は、火気のない5～35℃の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
(2) 子供の手の届かない所に保管して下さい。

1-6 注入接着用以外の使用禁止

- (1) 本来の用途以外には、使用しないで下さい。

1-7 廃棄方法

- (1) 河川等の環境中に投棄、及び漏出させないで下さい。
(2) 廃棄物の処理、及び清掃に関する法律、及び都道府県条例等に基づき、中身を使いきってから焼却するか、許可を受けた処理業者に委託して下さい。

2. 法規制

(1) 消防法

A (主剤)・B (硬化剤) とともに下記の通りです。

火気厳禁
危険物第4類第3石油類
危険等級Ⅲ

- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認は最寄りの当社までお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。
(後日に発見された場合は、責を負いません。)
- 印刷物につき、商品写真と実物とは多少相違することがございます。
- 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄りの当社へお願いいたします。



ISO 9001 認証取得 JQA-2019
ISO 14001 認証取得 JQA-EMO513
OHSAS 18001 適合 JQA-OH0017



古紙配合率70%再生紙を使用しています

アイカ工業株式会社

化成品・化粧板・住器建材・電子製品

本社／愛知県清須市西堀田2288番地
基目寺工場／〒490-1112 愛知県海部郡基目寺町上萱津深見24番地
化成品カンパニー 営業部
TEL (052) 445-6801 FAX (052) 445-6803
ホームページアドレス / <http://www.aica.co.jp/>

■代理店

札幌 ☎ (011) 811-9201 FAX (011) 812-2968
仙台 ☎ (022) 232-3251 FAX (022) 235-1067
北関東 ☎ (027) 322-8771 FAX (027) 327-2271
東京 ☎ (03) 5912-2841 FAX (03) 5912-2847
名古屋 ☎ (052) 331-4132 FAX (052) 331-4160
大阪 ☎ (06) 6265-6813 FAX (06) 6265-6814
広島 ☎ (082) 254-1311 FAX (082) 255-8817
福岡 ☎ (092) 584-5080 FAX (092) 584-5091
盛岡 ☎ (019) 653-5591 FAX (019) 653-5419

福島 ☎ (0248) 62-1321 FAX (0248) 62-1323
柏 ☎ (04) 7141-5901 FAX (04) 7141-5902
埼玉 ☎ (048) 601-2191 FAX (048) 601-2190
千葉 ☎ (043) 241-2181 FAX (043) 241-2185
横浜 ☎ (045) 640-1081 FAX (045) 640-1087
宇都宮 ☎ (028) 627-7521 FAX (028) 627-7639
松本 ☎ (0263) 33-1321 FAX (0263) 33-1325
新潟 ☎ (025) 245-8596 FAX (025) 245-8597
静岡 ☎ (054) 286-0451 FAX (054) 286-0453

金沢 ☎ (076) 222-9600 FAX (076) 222-9608
京滋 ☎ (075) 582-9771 FAX (075) 582-9770
神戸 ☎ (078) 222-6341 FAX (078) 222-6326
岡山 ☎ (086) 243-1327 FAX (086) 243-7508
高松 ☎ (087) 851-9588 FAX (087) 851-9592
鹿児島 ☎ (099) 226-7511 FAX (099) 226-7515

※…常設ショールーム

●各種お問い合わせ先

アイカ
コールセンター
TEL (052) 409-8313
FAX (052) 409-1482

●カタログ、サンプル帳のご請求先

アイカ
カタログセンター
TEL (052) 409-1471
FAX (052) 409-1526

●塗板見本のご請求先

アイカ
塗板センター
TEL (052) 409-8751
FAX (052) 409-7570